
日本図書館文化史研究会

ニューズレター

第 111 号 2010 年 2 月 7 日

日本図書館文化史研究会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jalih/index.html>

〒101-8301 千代田区神田駿河台 1-1

明治大学司書・司書教諭課程

郵便振替口座 00170-5-164973

■■ 目 次 ■■

日本図書館文化史研究会 2009 年度第 3 回研究例会 (石井敦先生を偲ぶ会)のご案内	2
2010 年度第 1 回研究例会について	
図書館文化史研究 文献紹介 『図書館職と東南アジア：地域研究情報資源、 シニアボランティア、カンボジア』(阪田蓉子)	4
「(仮称)図書館文化史研究文献目録」の編成について	
日本図書館文化史研究会 2010 年度研究集会のご案内	5
2010 年度研究集会個人発表募集のお知らせ	
日本図書館文化史研究会 2009 年度第 2 回例会報告	6
運営委員会通信	7
事務局だより	8
会費納入のお願い	
住所変更等のご連絡をお願いします	
会員動向	
創立 25 周年記念事業剰余金の使途について	

日本図書館文化史研究会

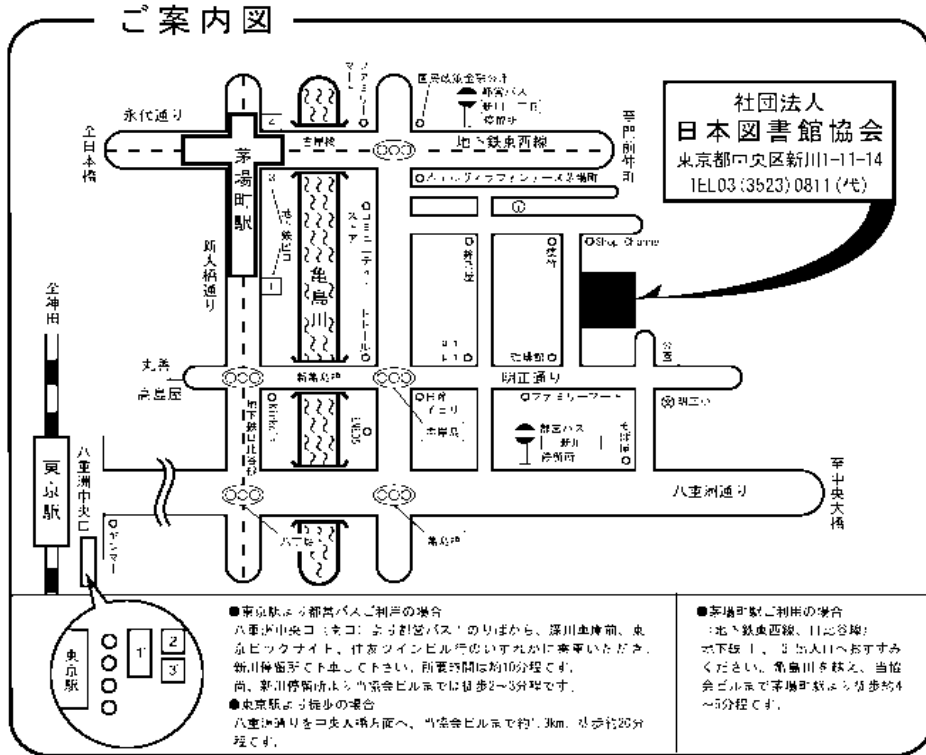
2009年度第3回研究例会（石井敦先生を偲ぶ会）のご案内

2009年5月に名誉会員石井敦先生が逝去されました。石井先生のご逝去を悼み、日本図書館協会、東洋大学図書館学専攻生との共同開催で、石井敦先生を偲ぶ会を2009年度第3回研究例会として、下記のように開催することになりました。是非ともご参加ください。

記

- 日 時： 2010年3月20日（土） 13時30分～16時50分
- 場 所： 日本図書館協会会館2階研修室
東京都中央区新川1-11-14
東京メトロ茅場町駅（東西線、日比谷線）下車徒歩5分
(<http://www.jla.or.jp/kaikan.htm>)
- 参加費： 2,000円
※ 参加費にて「偲ぶ会」の模様を記録した冊子を作成し、石井先生のご霊前に供するとともに、後日参加者に頒布します。
- 申込方法： 参加ご希望の方は、氏名（ふりがな）、所属、小冊子の郵送先を明記して、下記申込先まで、はがき、ファックス、または電子メールにてお申し込みください。
- 申込先： 〒321-3295 宇都宮市竹下町908
作新学院大学 司書・司書教諭課程 小黒 浩司
電子メール：
ファックス：028-670-3671
- 申込締切： 3月14日（必着） でお願います。
- プログラム
13:00- 受付開始
13:30-13:40 開会の辞
※ 司会： 酒川 玲子（前日本図書館協会事務局長）
13:40-14:10 報告①： 木村 武子（元神奈川県立図書館）
14:15-14:45 報告②： 伊沢ユキエ（横浜市磯子図書館・東洋大学20期卒業生）

14:50-15:20 報告③： 山口源治郎（東京学芸大学）
 15:30-16:30 自由討論
 16:30-16:40 閉会の辞



2010 年度第 1 回研究例会について

2010 年度第 1 回研究例会を、江東区立深川図書館で開催する方向で、現在調整中です。

深川図書館は、1909（明治 42）年に東京市立図書館として開館し、2009 年に創立 100 周年を迎えました。そこで同館では、『深川図書館 100 年のあゆみ』の発行などの開館 100 周年記念事業を実施しました (<http://www.city.koto.lg.jp/ac/koto-lib/47091/47092.html>)。

今回の例会では、同事業の担当者からこの事業についてのご報告をしていただくとともに、館蔵の貴重史料類の展覧などを予定しています。

詳細につきましては、『ニューズレター』次号でご案内します。また内容などが決定次第、研究会のウェブサイトに掲載します。

【図書館文化史研究 文献紹介】

図書館職と東南アジア：地域研究情報資源、シニアボランティア、カンボジア / 北野康子著；深井耀子，田口瑛子企画・編集
 京都：女性図書館職研究会・図書館職の記録研究グループ，2009
 52p；26cm. - (シリーズ私と図書館；No.2)

女性図書館職研究会が装いも新たに「シリーズ 私と図書館 No.2」を刊行されました。日本図書館研究会の助成により、図書館職の記録研究グループとして発足、今号は、北野康子さん著『図書館職と東南アジア～地域研究情報資源、シニアボランティア、カンボジア』です。北野さんにも京都在住の折、FLINTその他研究会等で面識がありました。が、寡黙で、と言って「むっつり」というのではなくて、仕事のことにしろ、こちらから伺わないとあれこれとお話なさるタイプではないので、今回読ませていただいて、あらためて内に闘志を秘めた方であるなど実感しました。在日中に北野さんにお世話になったことへのアウン・サン・スー・チーさんからのお礼状の写し、矢野氏が辞職後、返却されなかった図書室の本のリストのこと、彼に対する何が「東南アジアの尊厳だ」という発言など、驚くことばかり！前回の豊後さんもそうですが、同時代に生きて、接することができた喜びを感じています。まだまだ、これから深井耀子さん、田口瑛子さんに多くの方を発掘し？紹介していただきたいと願います。

阪田蓉子

「(仮称) 図書館文化史研究文献目録」の編成について

これまで『ニューズレター』誌上で、会員の研究業績を「図書館文化史研究文献紹介」として随時掲載してきましたが、今後は会員の研究業績を中心に、「(仮称) 図書館文化史研究文献目録」を編成し、『ニューズレター』に掲載・速報する計画を立て、試行することとしました。

さしあたり 2009 年版の文献目録を予備版として作成し、文献の採録範囲や収集方法、掲載形式などについて、さらに検討を進めて行きたいと思えます。

つきましては、会員の皆さまが 2009 年度に発表された図書、論文などを下記運営委員（研究担当）まで、お知らせください。また、この事業についてのご意見・ご提案などもあわせてお寄せください。

会員の皆さまのご協力をお願いします。

〒321-3295 宇都宮市竹下町 908 作新学院大学司書・司書教諭課程 小黒浩司
 電子メール： ファックス：028-670-3671

日本図書館文化史研究会
2010 年度研究集会のご案内

2010 年度日本図書館文化史研究会研究集会・総会を、おおむね下記のように開催することになりました。シンポジウムの内容など詳細につきましては、決定次第、『ニューズレター』でご案内し、研究会のウェブサイトに掲載します。

記

- 日 程： 2010 年 9 月 11 日（土）・12 日（日）
- 会 場： 実践女子大学本館 4 階 442 教室
東京都日野市大坂上 4-1-1
<http://www.jissen.ac.jp/jpn/top/04/index.php>
- 交 通： JR 中央線日野駅下車、徒歩約 12 分
<http://www.jissen.ac.jp/sonoma/a01/a01a01a02>
- 参加費： 2,000 円程度
- プログラム
- 第 1 日：9 月 12 日（土）
会員総会
シンポジウム
懇親会
- 第 2 日：9 月 13 日（日）
個人発表
運営委員会

日本図書館文化史研究会
2010 年度研究集会個人発表募集のお知らせ

2010 年度研究集会・第 2 日（9 月 12 日）での個人発表を希望される方は、次の各項を明記して、別記事務局までお申し込みください。

発表時間は質疑応答を含めて 1 件 1 時間程度を予定しています。

- 氏名（所属）
- 連絡先（住所、電話、メールアドレス等）
- 発表題目
- 発表要旨（200 字程度）

日本図書館文化史研究会
2009年度第2回研究例会報告

2009年11月28日、2009年度第2回研究例会が、明治大学リバティタワー1062教室を会場に開催されました。参加者は13名でした。なお、発表のレジュメをご希望の方は、事務局までお申し込みください。

【発表1】

○ 発表者

奥泉 和久（横浜女子短期大学図書館）

○ 発表題名

図書館年表論・序説

○ 発表要旨

発表者は、昨年9月『近代日本公共図書館年表』（日本図書館協会）を刊行した。これはわが国の近代公共図書館に関する総合年表としては初めてのものである。そこで、この機会に「図書館年表論」を整理して、本年表の作成にあたり意図したこと紹介した。

「図書館年表論」には、唯一天野敬太郎氏「図書館年表の研究」があるが、発表されたのは1970年代である。石井敦氏「図書館年表に関するメモ」（仮称）（未公表、奥泉の記録による、2005）は、その後の図書館史研究の成果が反映されている。発表者は、年表作成には、（1）項目の採録基準・収録範囲、（2）年表作成についての方針、（3）典拠文献の特定、（4）独立した年表の構成などが重視されることを指摘、それぞれの意義や課題について見解を述べた

【発表2】

○ 発表者

小黑 浩司（作新学院大学）

○ 発表題名

明治大学図書館蔵『検閲週報』について

○ 発表要旨

明治大学図書館に所蔵する『検閲週報』合冊製本1冊について、次のような点から報告し、明大本『検閲週報』が第二次世界大戦末期における大学図書館統制の実態を伝える貴重な資料であることを述べた。

- ① 『検閲週報』の他図書館等での所蔵状況について
- ② 『検閲週報』の発刊と頒布の経緯について
- ③ 明大本『検閲週報』中間部分合綴文書について
- ④ 明大本『検閲週報』巻末部分合綴文書について

運営委員会通信

■ ■ 次回運営委員会について ■ ■

次回運営委員会を、下記のように開催します。本研究会の運営に興味・関心のある方は、是非ともご参加ください。

当日ご都合の悪い方は、別記事務局まで郵便、ファックス、または電子メールで、ご意見、ご希望等をお寄せいただければ、運営委員会で検討いたします。

記

- 日 時 3月20日(土) 11時～12時
- 場 所 日本図書館協会 2階研修室
- 内 容
 1. 2010年度第1回研究例会について
 2. 2010年度研究集会・総会について
 3. 2010年度予算・事業計画について
 4. 2009年度決算について
 5. 「(仮称) 図書館文化史研究文献目録」について
 6. 「(仮称) 日本図書館文化史研究会研究賞」について
 7. 『図書館文化史研究』第27号について

ほか

■ ■ 前回運営委員会の報告 ■ ■

実施日：2009年11月28日
場所：明治大学

以下のような事項について、協議しました。

1. 2009年度第2回研究例会について
2. 2009年度第3回研究例会(石井敦先生を偲ぶ会)について
3. 2009年度研究集会・総会決算について
4. 創立25周年記念事業剰余金の使途について
5. 『図書館文化史研究』第27号について
6. 『ニューズレター』第111号について
7. 2010年度第1回研究例会について
8. 2010年度研究集会・総会について
9. 「(仮称) 図書館文化史研究文献目録」の『ニューズレター』掲載について
10. 次回運営委員会について

ほか

事務局だより

■■ 会費納入のお願い ■■

2009年度会費をまだ納入されていない方には、封筒に「会費振替用紙在中」の朱印を捺し、振替用紙と会費納入のお願いの文書を同封しました。至急ご送金ください。

■■ 住所変更等のご連絡をお願いします ■■

研究会からの刊行物の送り先などについて変更が生じた場合、あるいは封筒貼付の宛名ラベルの記載が不正確な場合、早めに事務局までご連絡ください。

創立 25 周年記念事業剰余金の使途について

先の会員総会で、創立 25 周年記念事業剰余金の使途については、運営委員会でさらに検討し、今年度中に結論を出すことになりました。そこで運営委員会でこの件について検討した結果、ひとまず次のような成案を得ました。

- 研究会創立 30 周年記念事業として、図書館文化史研究を奨励・顕彰する目的で、「(仮称) 日本図書館文化史研究会研究賞」を創設する。
- 上記の選考対象は、2001 年 1 月から 2010 年 12 月末までの図書館文化史研究とする。会員の研究を対象とし、共同研究も含む。
- すぐれた図書館文化史研究活動のなかから「研究賞」を選考する。
- 機関誌『図書館文化史研究』に掲載された論文のなかから「奨励賞」を選考する。
- 奨励・顕彰制度の詳細、継続などについては、引き続き運営委員会で検討する。